

古戦場公園再整備基本計画策定第1回市民ワークショップ報告書

日時：平成27年11月18日午後6時30分から8時40分

場所：長久手市役所西庁舎 研修室

参加人数：26名

趣旨：基本構想をベースとし、市民のアイデアを結集し、日本歴史公園100選にふさわしい魅力的な古戦場公園を再整備します。

市内各地区の歴史・景観資源を活かし、市内フィールドミュージアムの形成を行い、他都市との交流や観光振興を推進すると共に、楽しく、生きがいのある市民生活を創造します。

目的：古戦場公園は、市民がつくり、市民が運営に参画し、リニモ古戦場駅駅前はじめ市内の回遊拠点と連携しつつ、市民や来訪者に満足していただく公園です。

市民ワークショップ参加者が、利用者・運営者・事業者の視点に立ち、よりよい計画方針を出していただくことを目的としています。

ワークショップの内容：

- ・基本計画・ワークショップ・有識者会議の工程説明
- ・古戦場公園基本構想の概略説明
- ・基本計画の趣旨、目的、進め方の説明
- ・第1回ワークショップの検討課題の説明 ①公園計画、②建物、展示計画

ワークショップで出された意見の概要：

ワークショップでは、公園計画、建築計画を中心にハード、ソフト面で多様な意見を頂きました。

【公園景観】

- ・樹林等の自然や当時の地形が残っていることに対する評価が高い
- ・当時をとことん再現した景観をつくる
- ・公園周辺の景観に配慮する

【公園環境】

- ・ピクニックスペース設置
- ・屋根のある休息施設設置
- ・ベンチの設置
- ・痛んでいる桜の手当てが必要
- ・桜以外に季節を感じるような植栽が欲しい

【駐車場】

- ・駅前と公園の連携
- ・地下駐車場の上を公園として利用
- ・地下駐車場は建設費用に問題あり

- ・イベント時等には古戦場公園内の広場を駐車場として利用

【和弓場】

- ・場外移転
- ・弓道は伝統的文化であり、古戦場公園に相応しい施設
- ・弓道関係者はどのように考えているかヒアリングが必要

【建物計画】

- ・構想同様、東にガイダンス施設、西に多目的施設、資料館がよい
- ・現状の郷土資料室では狭い
- ・ガイダンス施設も含めもっと広く、充実させるべき

【飲食施設】

- ・郷土料理や、当時の衣・食・住を体験できる施設にする
- ・景観を楽しめる、リピート性のある飲食環境が必要

【展示】

- ・もっと充実した展示
- ・甲冑・火縄銃や弓、公園全体を使った体験展示

【モニュメント】

- ・広域眺望ができるタワー
- ・縮景観賞用の物見櫓
- ・エントランスゾーンに棒の手のモニュメント

【連携】

- ・東から西側ゾーンに引き込む仕掛けが必要
- ・イオンとの連携
- ・市内史跡の連携

【利用者】

- ・子ども・高齢者がターゲット
- ・子ども館長子ども武将隊など映画村のような仕掛けを